

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に及び、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	外階段に手すり、機能訓練室の段差にスロープ、トイレに手すりを設置しています。室内の三段階段は、声かけや内ドア設置等で安全確保に努めています。	玄関アプローチ等に段差があり、車椅子のご利用は困難な状況です
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		適温の設定、換気や加湿、消毒など衛生管理に留意しています。	学習環境については、さらに整備したいと考えています
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	○		個別に静養できる環境をいっそう整備します
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		現状は保護者評価と自己評価による業務改善を行っています
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○			ハグ、リタリコ、障がい児成長支援協会等の研修機会を確保しています。職員の希望に応じた研修支援（事業所による費用負担）を実施しています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		希望者に「S-M社会生活能力検査」を実施しています	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		長期休みを中心に外部講師による活動も取り入れています。2024年度は新たに、卒業生プログラム策定、フェリーを用いた外出を行いました。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	○		複数のおやつから自己選択したり、やりたい活動や遊びを表現してもらい実現する機会を増やしています。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			参加職員を増やしたいと考えています
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			不足もあるので、いっそうの連携を図っていきます。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○		保護者を通じて、情報を共有しています
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○		対象児・生徒がいなかったため未対応です。必要に応じて実施します。
保護者への説明等	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後の課題として取り組みます
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		一般公開イベントを通じて地域の児童や大人を迎えたり、公民館や地域で行われる活動やイベントに参加しています。	少しずつ近隣の放課後児童クラブとの交流を図りたいと考えています
	33 [自立支援] 協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○		次年度は参加回数や参加職員を増やしていきます。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎やお迎え時の見学や報告、業務支援アプリを通じて日々の様子をお伝えしています。	いっそう丁寧な報告と共通理解を図ります
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ベアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会と相談会を開催しました。	課題をもとに、継続的なベアレントトレーニングを準備しています。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			より迅速かつ適切な対応の徹底と、周知に努めます
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			兄弟や家族が参加できる活動を定期的に行っています
非常時等の対応	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			いっそうの配慮に努めます。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童・保護の特性にあわせた情報伝達（文書配布等）を行っています。文字起こしアプリの利用や、かんたんな手話ができる職員参加による意思疎通も図っています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		一般公開イベントを開催し、地域の児童や大人を迎えています。屋外に食育に関する情報掲示しています。	
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			児童とともに公民館や交番を定期的に訪問し、交流を図っています。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○		保護者からの情報提供とヒアリングを基におやつを提供しています。今後は医師の指示の有無についても情報を収集していきます。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				